

# 鬼頭（八学大）

# 女子500 総合1位

男子5000 山本6位

ジャパンカップスピード

## 八戸で最終戦開幕

八戸市で初開催となるジャパンカップスピードスケートの最終第4戦が14日、同市のYSアリーナ八戸で開幕した。初日は男女3種目を行い、女子500メートルで鬼頭琴音（八戸学院大）が6位入賞。4戦合計1577点で総合1位に輝いた。（大久保拓地、工藤優子）

女子500メートルは鬼頭が準優勝し、総合成績では杉浦美咲（同）が122点で6位入賞し、12位（総合9位）、大岩た。毛利信太郎（八戸西未奈美（同）が13位（同出、高崎健康福祉大）は7位となった。男子5000メートルは山本也（八戸商大、東洋大）は13位（同16位）だった。



大会は全4戦。一戦ごとの順位に応じて得られるポイントを距離別に競う。最終戦は16日まで。第2日の15日は男女3種目を行う。

## 声援背に力強く加速

鬼頭

### ヒロイン

「すくすくうれしい」。国内一線級の選手を抑え、女子500メートルの総合成績で表彰台の頂点に立った鬼頭琴音（八戸学院大）は、自身初となる全日本大会優勝の喜びをかみしめるように笑った。これまでの研さんを感



【写真上】「女子500メートル」最終戦で6位入賞し、総合1位に輝いた鬼頭琴音（八戸学院大）。【写真下】表彰台でトロフィーを手に笑顔を見せる鬼頭。14日、八戸市のYSアリーナ八戸。

じさせるレースだった。力強いスタートダッシュで一気にトップタックシユまで加速。なめらかな足さばきでコーナーを回り、地元の声援を背に一気にゴールまで滑り切った。記録は40秒22。「自己ベストを更新できなかった」と残念がったが、39秒台を出した第1戦に次ぐ好タイムだった。総合成績を競うジャパンカップで上位を狙うには、安定した記録を出し続けられる地方の強さが重要になる。4年生となり引退が迫った今季、夏場の陸上トレーニングに加え、午前6時半からの朝練を自主的に行い、身体強化に努めた。「引退の瞬間まで全力で滑り抜く」。固く胸に誓った決意は4戦すべてで上位入賞を果たす確かな実力を備えさせた。

生まれ育った北海道厚真町を離れて4年。今大会の1000メートルと来月の県内大会で選手として一区切りをつける。春からは八戸市内で新社会人となる。「つらいこともあったけれど、スケートが好き。これからも何かしら」の形で関わっていきな